

ヤマハ株式会社
2015年3月期
第3四半期決算説明会

2015年 2月 5日



3Q決算概要

■ 対前年同期、前回予想ともに増収増益

- ・ 楽器事業は、概ね堅調に推移
- ・ 音響機器は、PA機器成長もAV機器苦戦継続
- ・ 電子部品は、対前期大幅減収も前回予想並みで推移

■ 営業利益は、楽器の増益が全社を牽引 経常利益、当期利益の各利益段階でも 対前年同期、前回予想共に増益

2015/3期 3Q業績概要



(億円)

	14/3 3Q	15/3 3Q	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,110	1,169	+5.3%	1,166	+0.2%
営業利益 (営業利益率)	91 (8.2%)	106 (9.1%)	+16.8%	99 (8.5%)	+7.4%
経常利益 (経常利益率)	89 (8.0%)	109 (9.3%)	+22.8%	89 (7.6%)	+22.4%
当期利益 (当期利益率)	65 (5.9%)	99 (8.5%)	+51.7%	77 (6.6%)	+28.8%

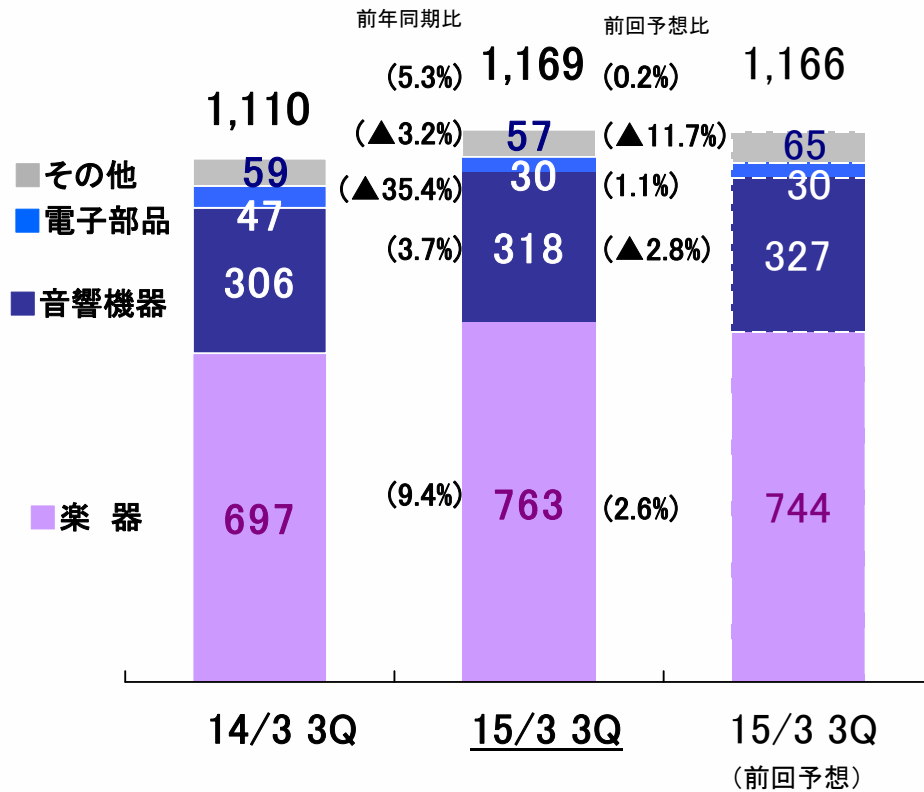
為替レート (円)

売上高	US\$	100	114	105
	EUR	137	143	135
利益	US\$	99	112	105
	EUR	131	138	135

2015/3期 3Q事業別業績

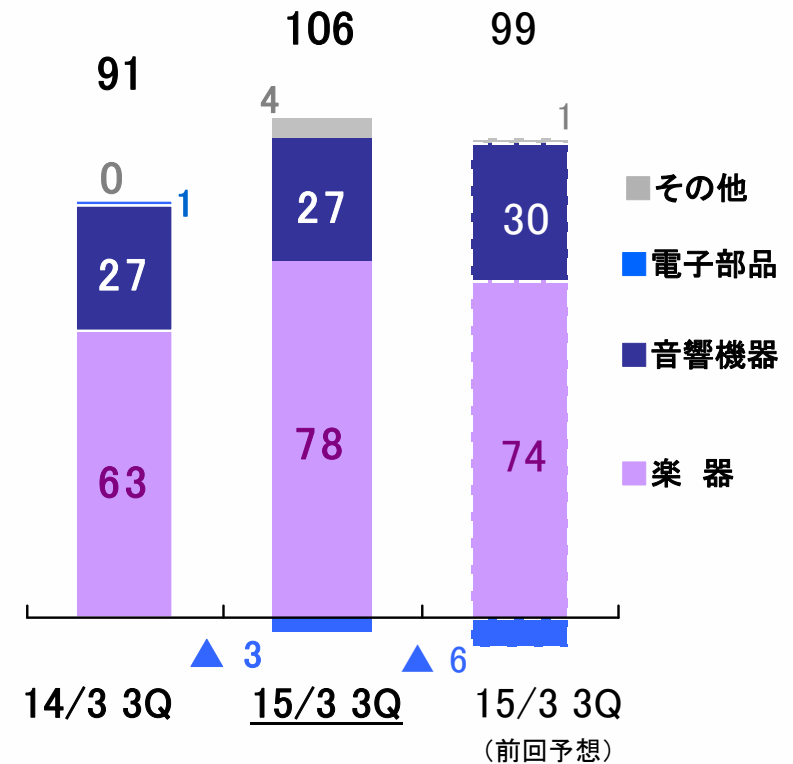


売上高



営業利益

(億円)



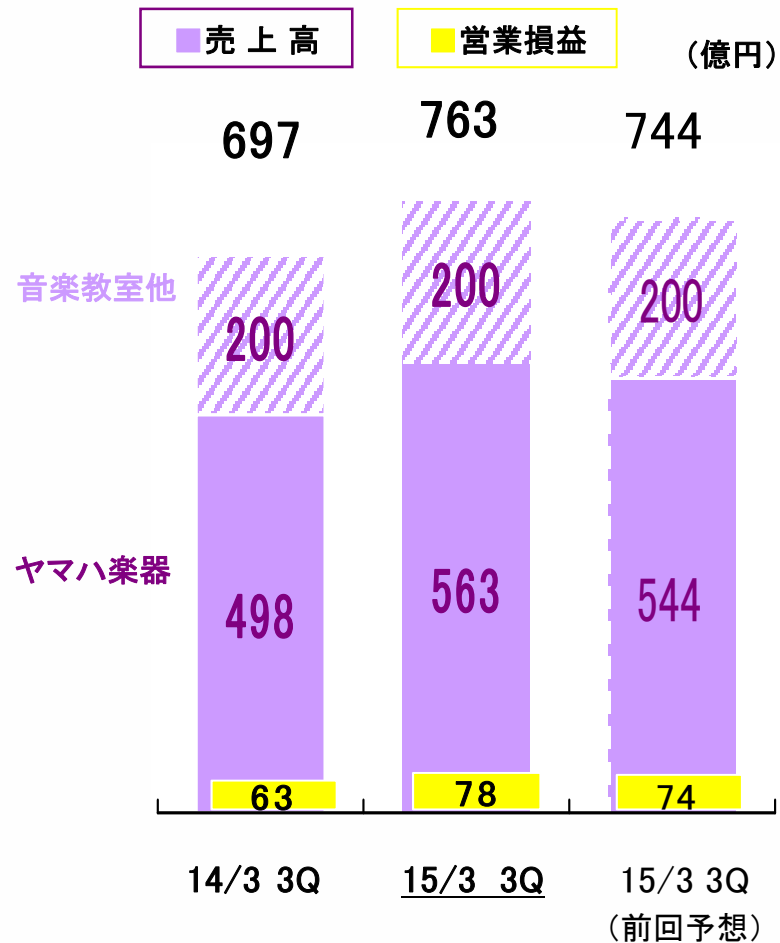
為替影響額 (億円)	
前年同期比較	+58 楽器 +39 音響機器 +18 電子部品 +1
前回予想比較	+53 楽器 +35 音響機器 +17

為替影響額 (億円)	
前年同期比較	+13 楽器 +10 音響機器 +3
前回予想比較	+12 楽器 +9 音響機器 +4

楽器事業 3Qの状況



3Q



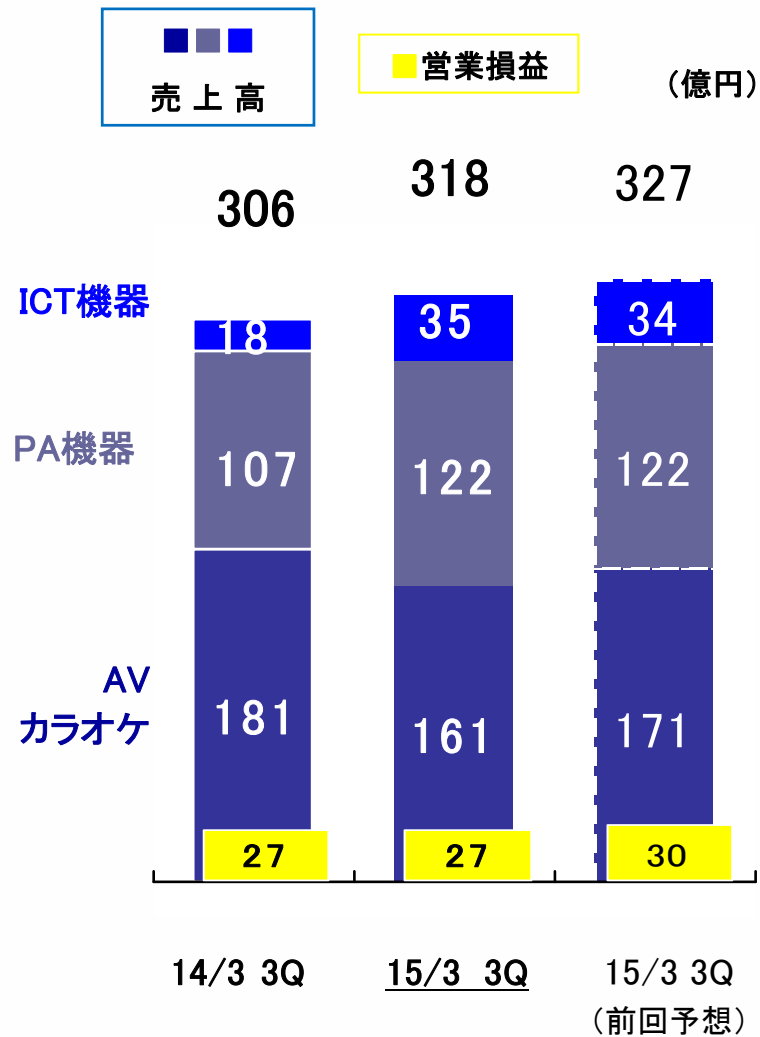
3Qの状況

- ・対前年同期、前回予想ともに増収増益
- ・全市場で為替影響を除いても対前年同期増収
- ・ピアノは、日本市場で消費増税後の回復遅れ
- ・電子楽器、管楽器は堅調、弦打楽器はギターが好調に推移

音響機器事業 3Qの状況



3Q



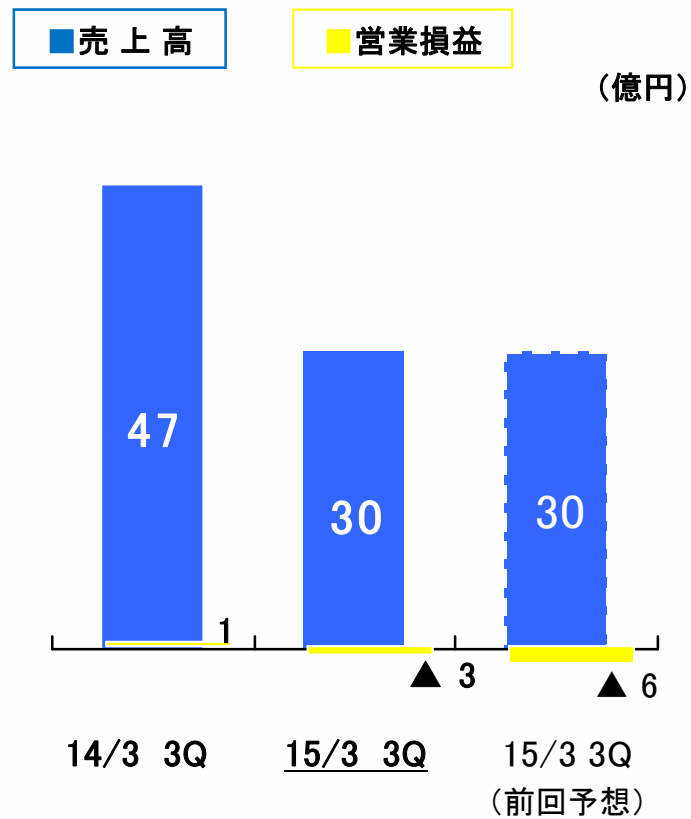
3Qの状況

- ・対前年同期増収も、対前回予想では減収
- ・AV機器の苦戦継続、カラオケも対前回予想で減収
- ・PA機器は、対前期増収も為替影響除外の実質では前回予想には届かず
- ・ルーターは堅調に推移

電子部品事業 3Qの状況



3Q



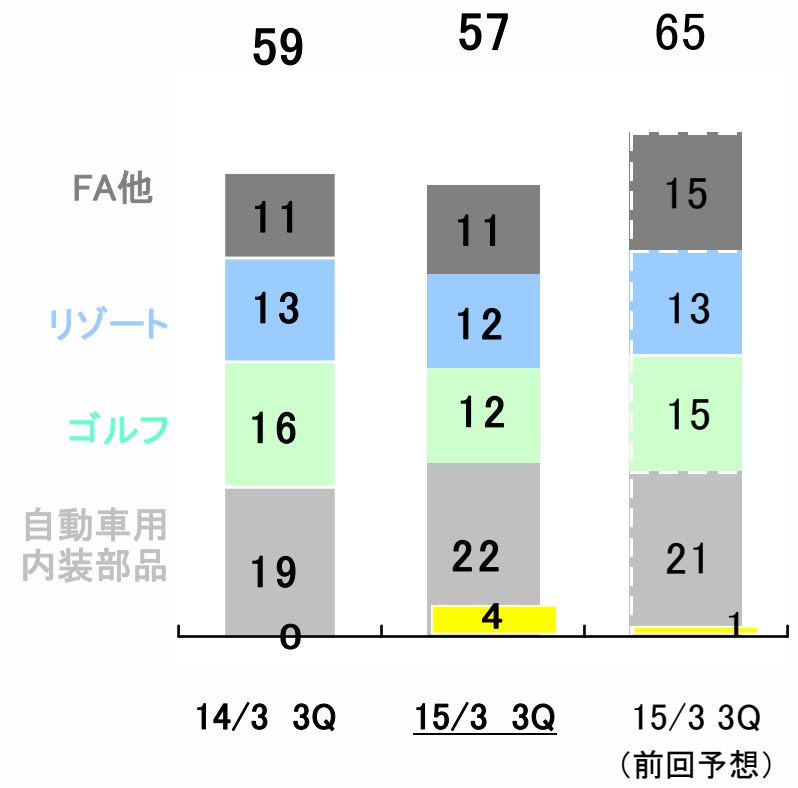
3Qの状況

- ・売上は対前年同期大幅減収も前回予想通り
- ・アミューズメント、地磁気センサー共に市況の厳しさ続く
- ・損益は、開発費の後ろ倒しが影響し、対前回予想で損失減少

その他の事業 3Qの状況



3Q



3Qの状況

- ・対前年同期、前回予想共に減収
- ・自動車用内装部品は対前年同期増収
- ・ゴルフは競合激化、海外市場苦戦で対前年同期減収
- ・リゾートは集客減により対前年同期減収
- ・損益は、自動車用内装部品堅調等で対前年同期、対前回予想共に増益

2015/3期 1～3Q業績概要



(億円)

	14/3 1～3Q	15/3 1～3Q	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	3,087	3,232	+4.7%	3,230	+0.1%
営業利益 (営業利益率)	228 (7.4%)	257 (8.0%)	+12.9%	250 (7.7%)	+2.8%
経常利益 (経常利益率)	223 (7.2%)	260 (8.0%)	+16.2%	240 (7.4%)	+8.1%
当期利益 (当期利益率)	190 (6.2%)	207 (6.4%)	+8.7%	185 (5.7%)	+11.9%

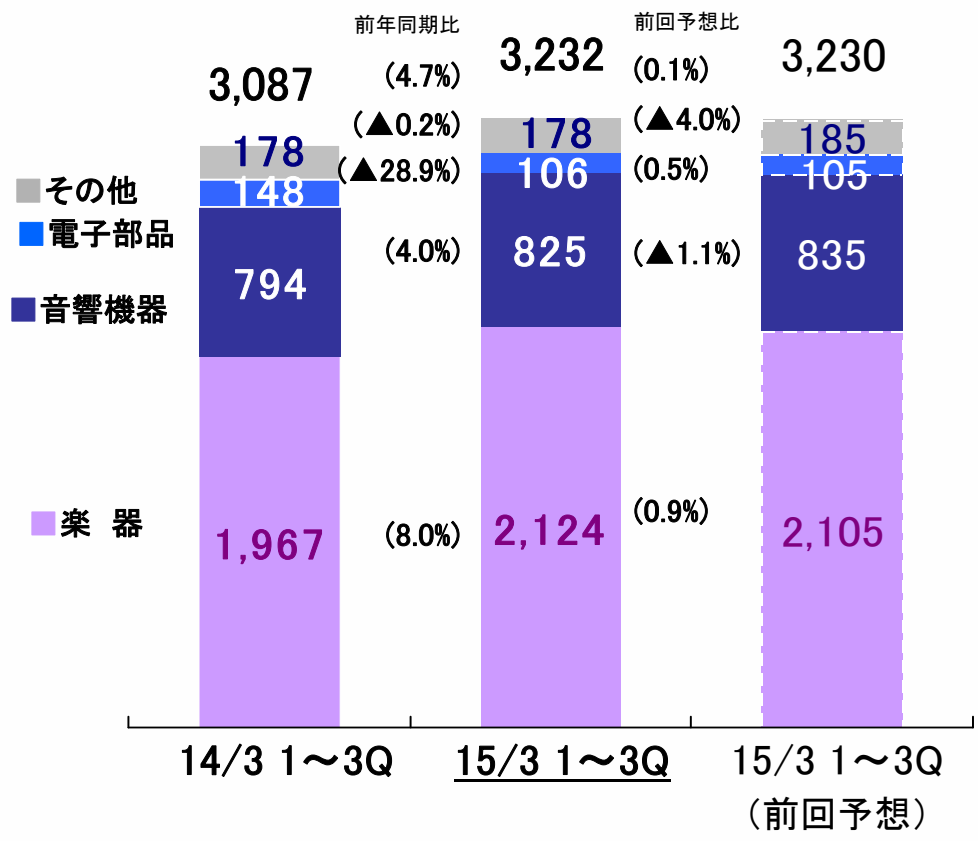
為替レート (円)

売上高	US\$	99	107	104
	EUR	132	140	138
利益	US\$	98	105	103
	EUR	127	140	139

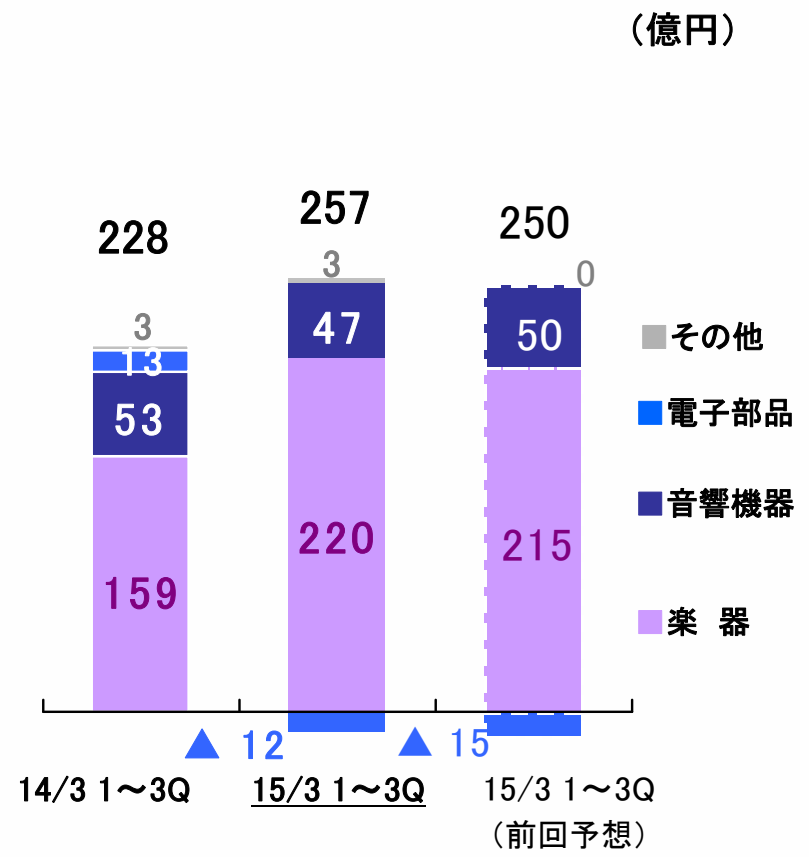
2015/3期 1~3Q事業別業績



売上高



営業利益



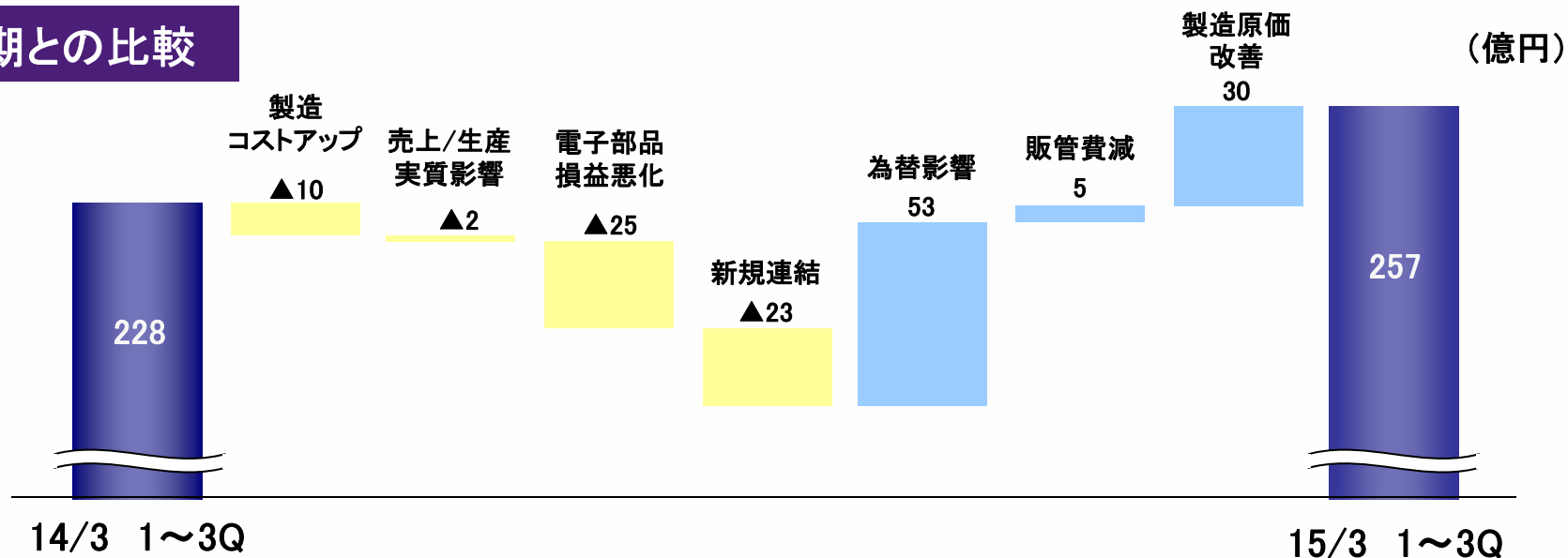
為替影響額 (億円)	
前期比較	+108 楽器 +72 音響機器 +35 電子部品 +1
前回予想比較	+53 楽器 +35 音響機器 +17

為替影響額 (億円)	
前期比較	+53 楽器 +40 音響機器 +14
前回予想比較	+12 楽器 +9 音響機器 +4

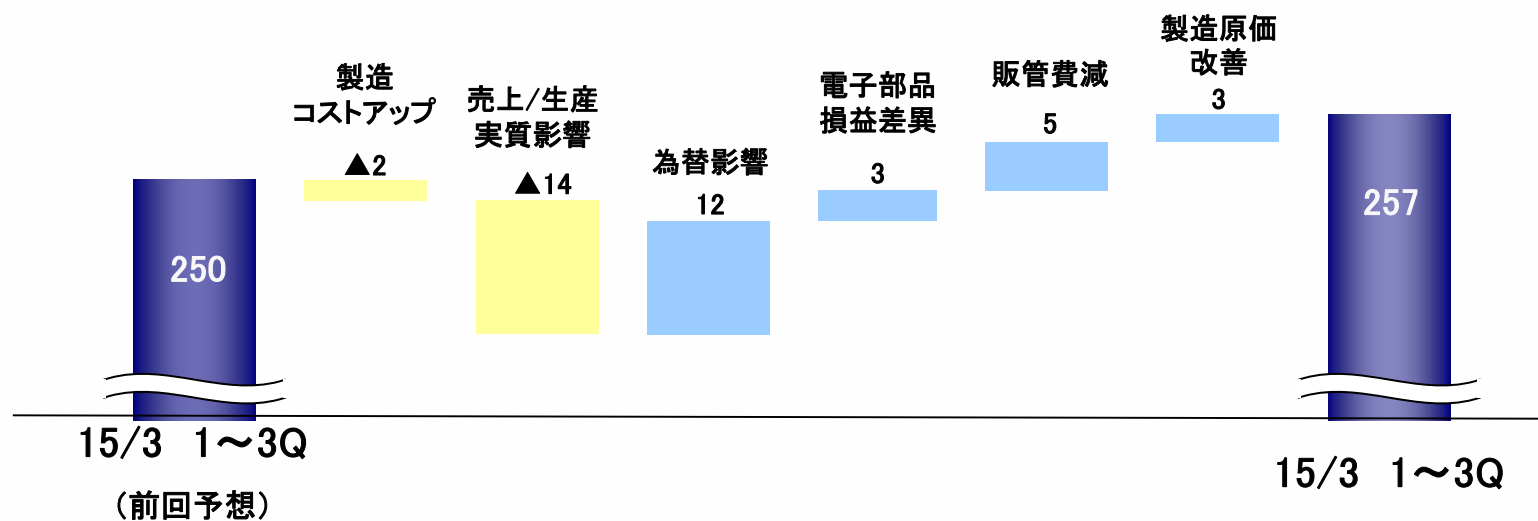
2015/3期 1～3Q営業利益増減要因



前期との比較



前回予想との比較



4Qの見通し

- 楽器は、北米市場が堅調、その他市場の回復基調はあるものの、日本、欧州市場は慎重な先行きを想定
- 音響機器は、PA機器の増収を見込むが、AV機器は厳しさ続く
- 電子部品は、販売減、経費増による損益悪化の見通し
- 4Q為替レート見直し(US \$105→115 ユーロ 135→140)

通期の業績見込み

音響機器、電子部品、その他の事業について慎重な見通しが必要となるものの、楽器事業の堅調な推移を勘案し、売上高4,300億円 営業利益300億円に修正する。

2015/3期 通期業績予想



(億円)

	14/3			15/3予想			前期比	前回 予想	前回 予想比
	1~3Q	4Q	通期	1~3Q 実績	4Q 予想	通期 予想			
売上高	3,087	1,016	4,103	3,232	1,068	4,300	+4.8%	4,300	-
営業利益 (営業利益率)	228 (7.4%)	32 (3.2%)	260 (6.3%)	257 (8.0%)	43 (4.0%)	300 (7.0%)	+15.4%	290 (6.7%)	+3.4%
経常利益 (経常利益率)	223 (7.2%)	38 (3.7%)	261 (6.4%)	260 (8.0%)	40 (3.7%)	300 (7.0%)	+14.7%	280 (6.5%)	+7.1%
当期利益 (当期利益率)	190 (6.2%)	39 (3.8%)	229 (5.6%)	207 (6.4%)	3 (0.3%)	210 (4.9%)	▲8.3%	190 (4.4%)	+10.5%

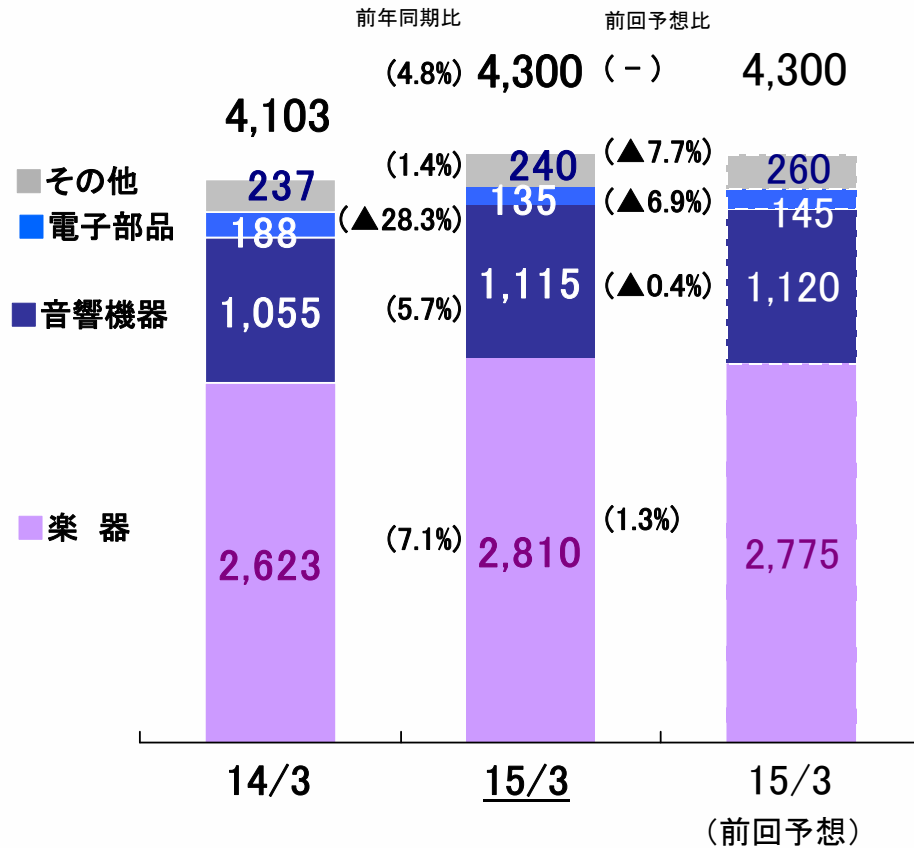
為替レート (円)

売上高	US\$	99	103	100	107	115	109	104
	EUR	132	141	134	140	140	140	137
利益	US\$	98	103	100	105	115	108	104
	EUR	127	137	129	140	140	140	138

2015/3期 通期事業別業績予想



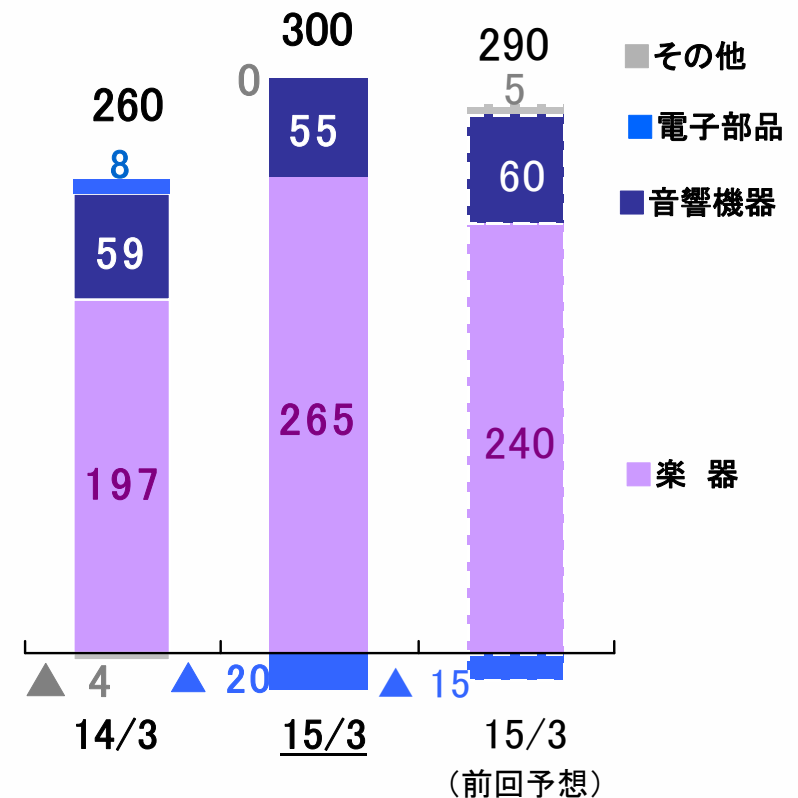
売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	+147 楽器 +98 音響機器 +48 電子部品 +2
前回予想比較	+96 楽器 +64 音響機器 +32 電子部品 +1

営業利益

(億円)

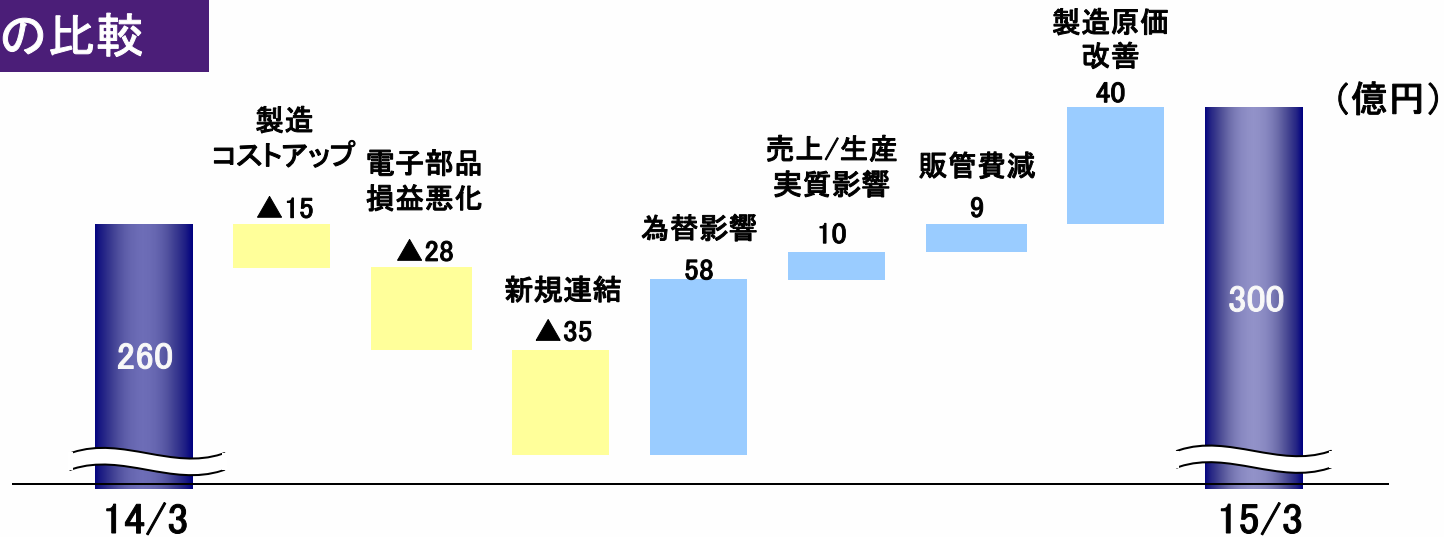


為替影響額 (億円)	
前期比較	+58 楽器 +45 音響機器 +14 電子部品 ▲1
前回予想比較	+21 楽器 +16 音響機器 +6 電子部品 ▲1

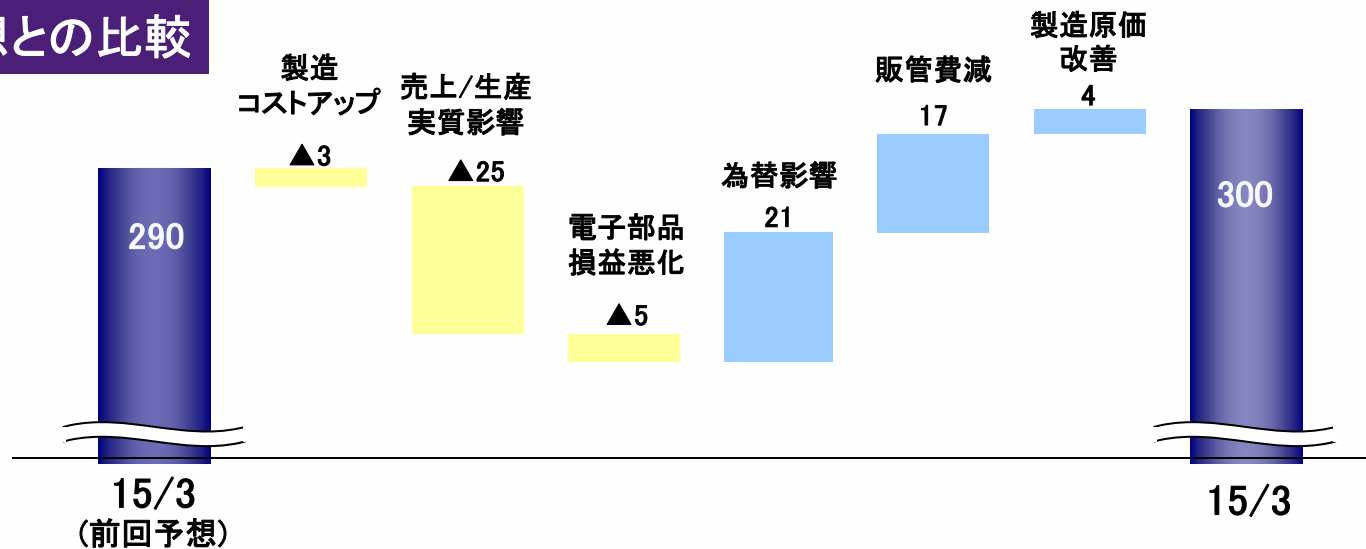
2015/3期 通期営業利益予想増減要因



前期との比較



前回予想との比較



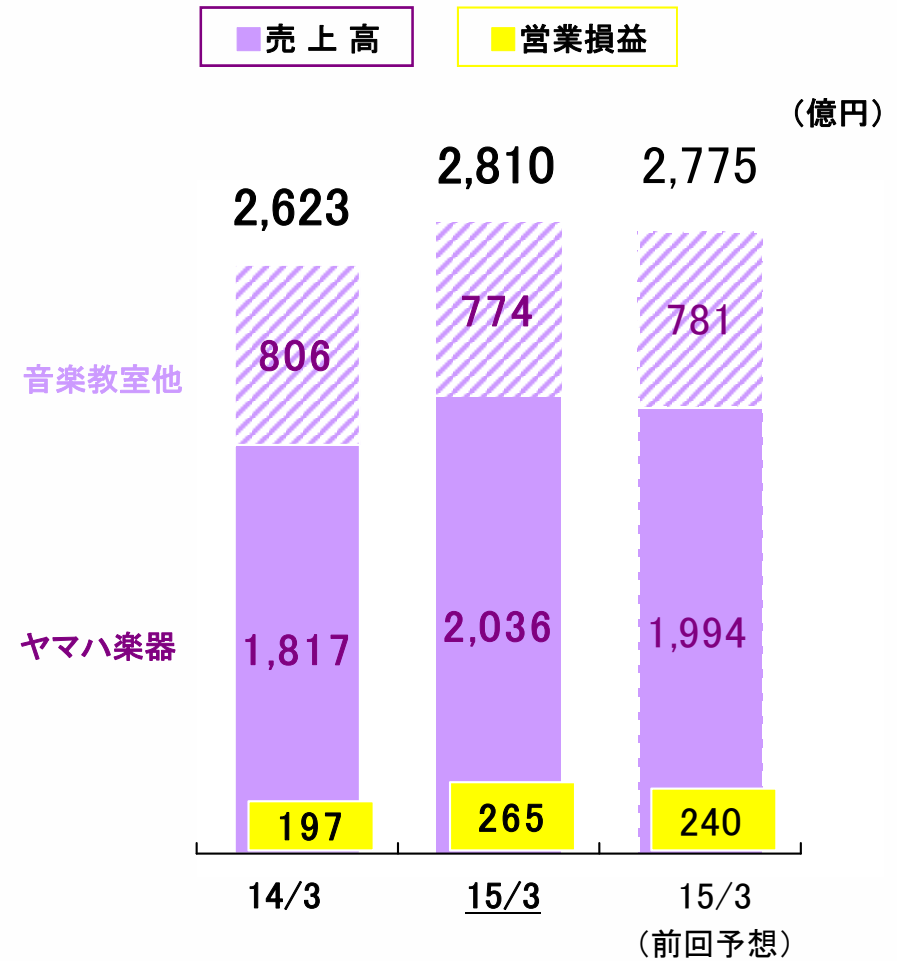
楽器事業 4Q想定と通期予想



通期

4Q想定

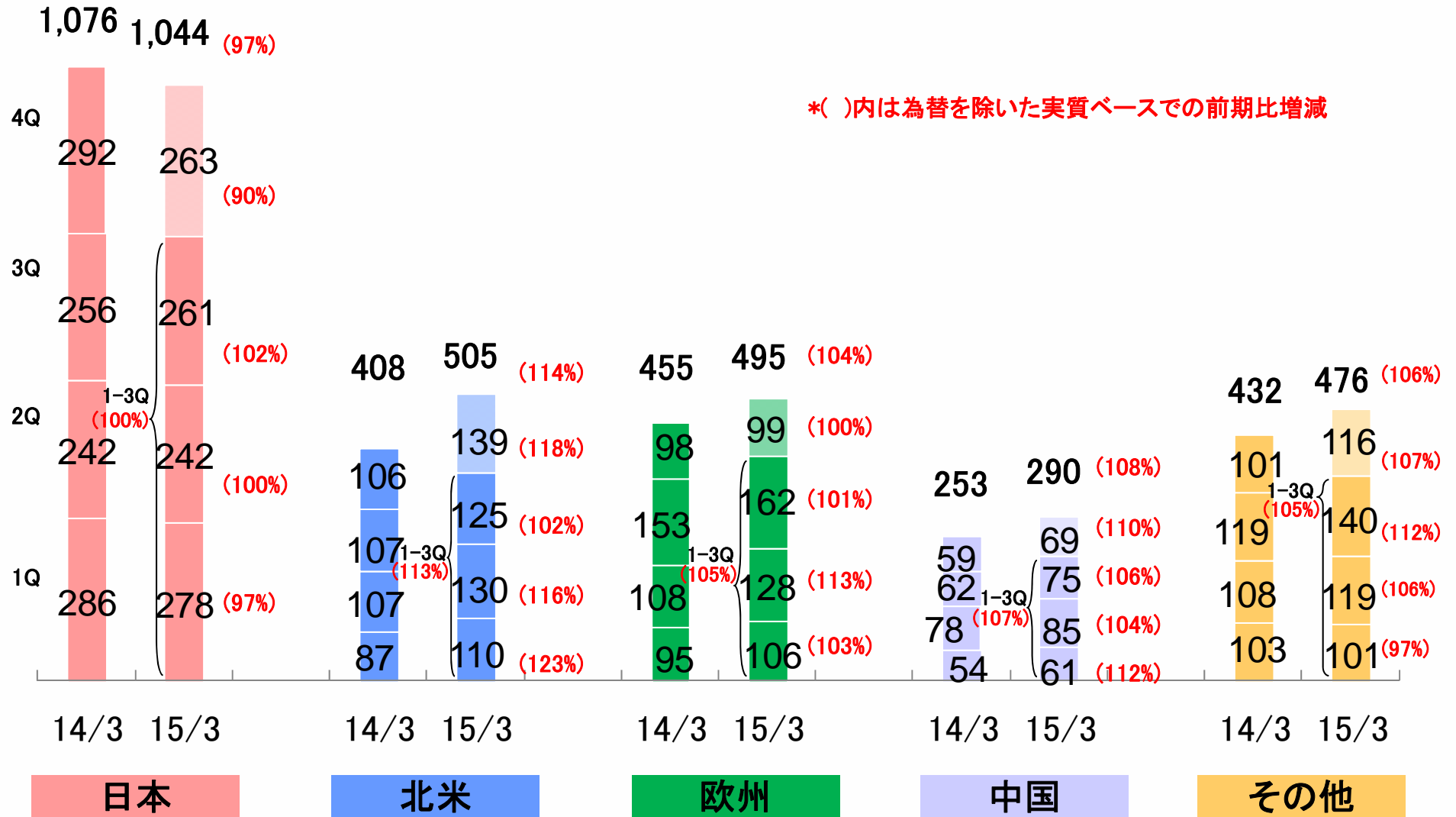
- ・国内市場は、消費増税前需要のあった前年同期から減収
- ・ギターが、前期生産影響からの回復想定



楽器事業(地域別の販売状況)



(億円)



音響機器事業 4Q想定と通期予想



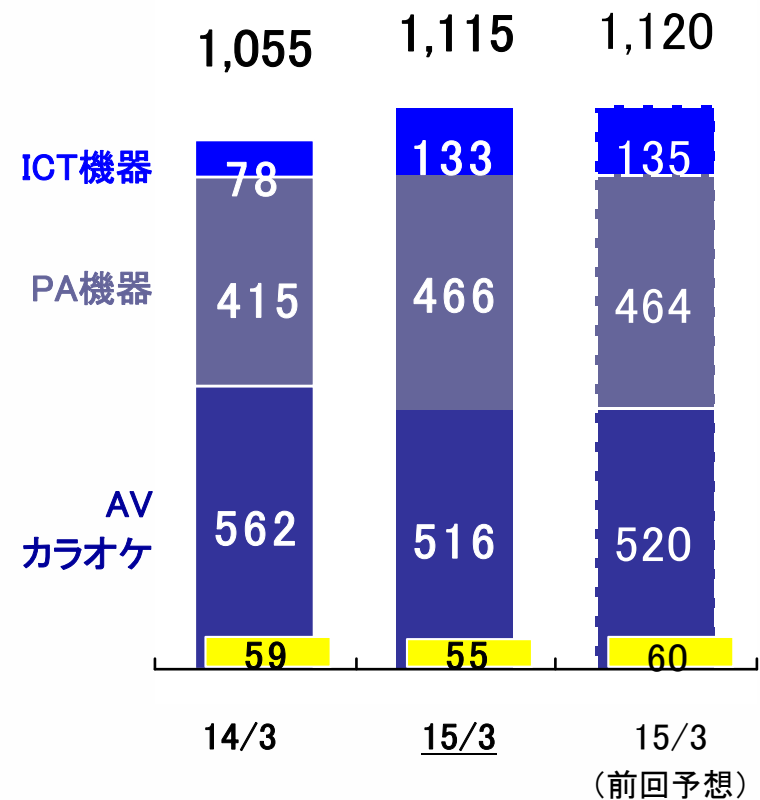
通期



(億円)

4Q想定

- ・AV機器は厳しさ継続
- ・PA機器は音響設備工事等で増収想定
- ・ルーターは流通在庫調整で減速

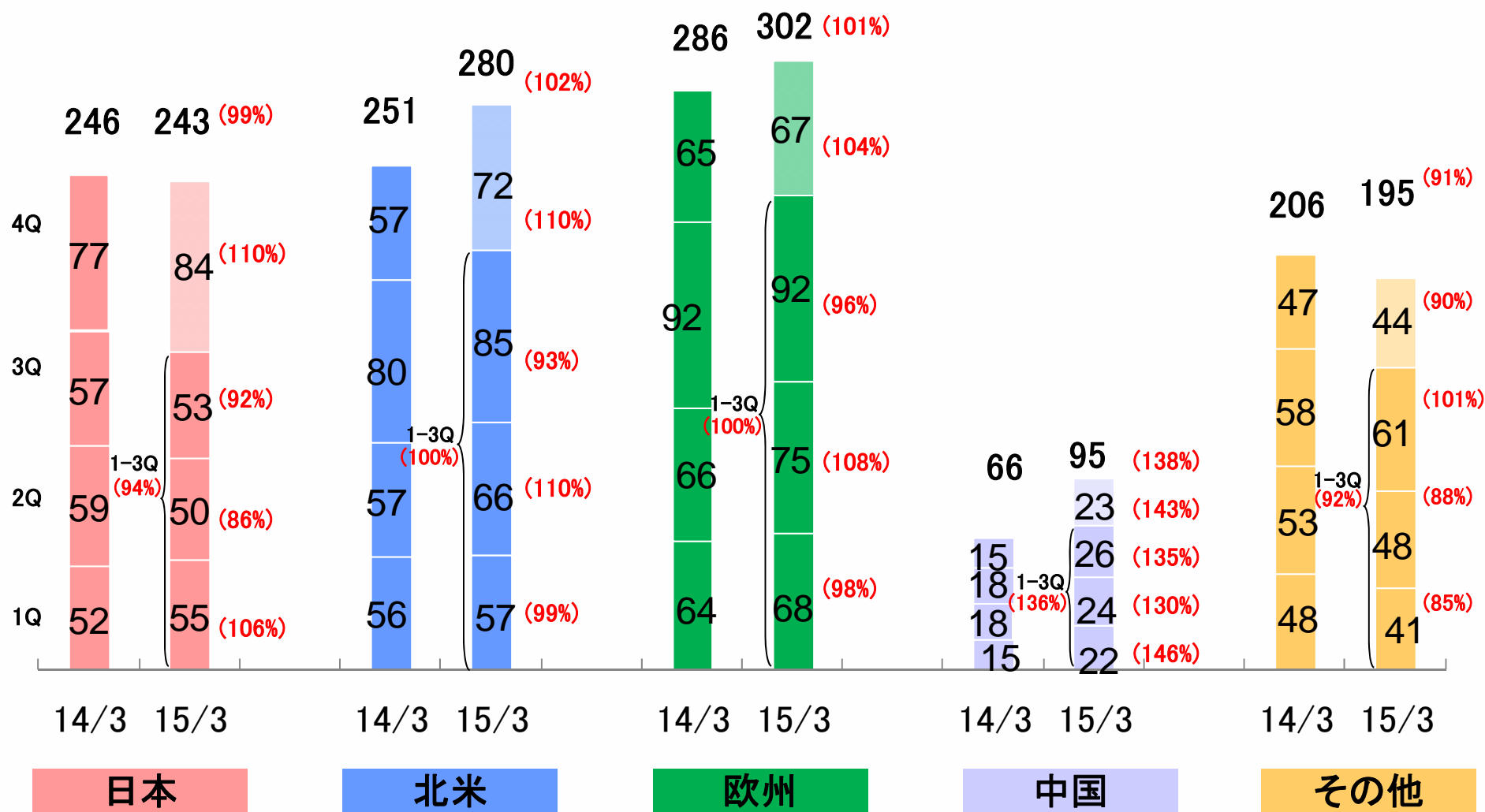


音響機器事業(地域別の販売状況)



(億円)

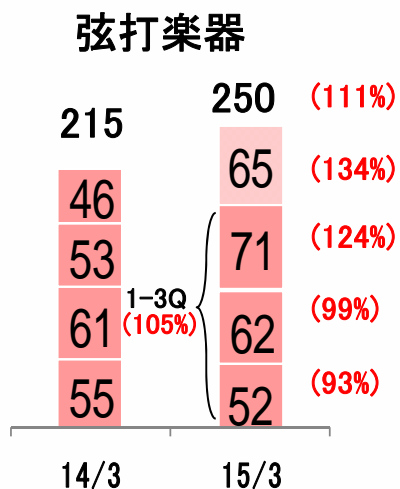
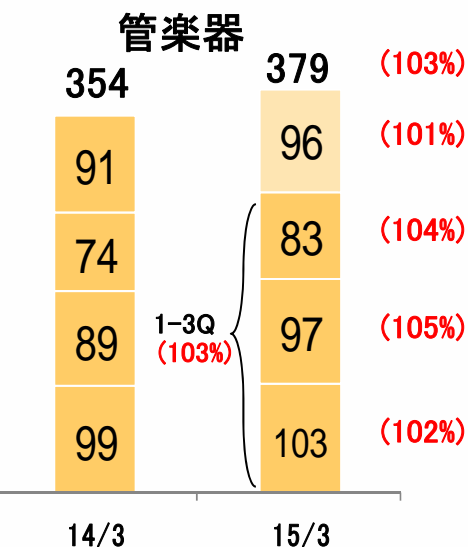
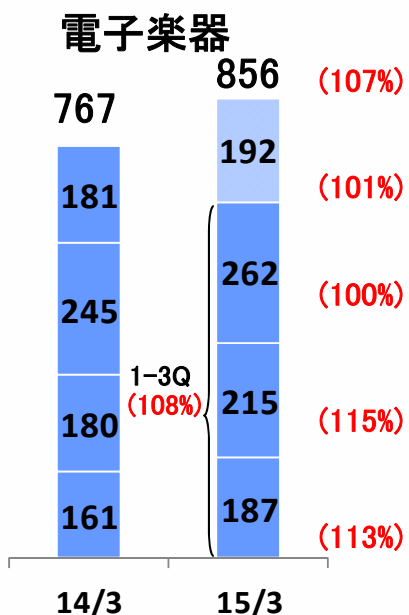
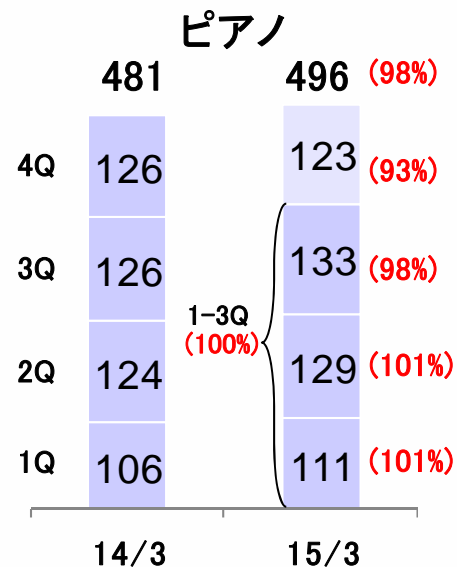
*()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



楽器・音響機器事業(ヤマハ商品別販売状況)



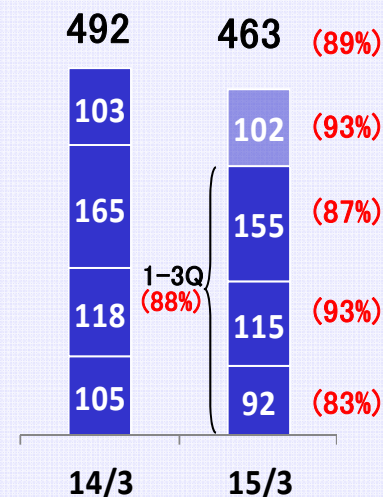
楽器事業



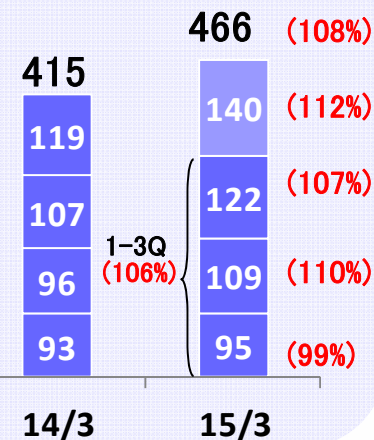
音響機器事業

(億円)

AV機器(パーツ等含まず)



PA機器



*()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

電子部品事業 4Q想定と通期予想



通期

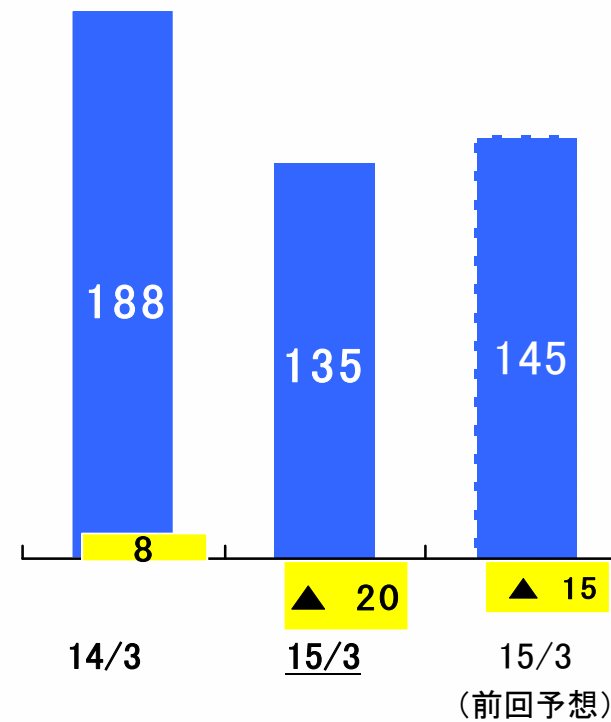
■売上高

■営業損益

(億円)

4Q想定

- ・前回予想から減収の見込
- ・アミューズメント市場回復がさらに遅延
- ・スマートフォン向け地磁気センサー、
コーデックも納入先販売の厳しさを想定
- ・後ろ倒しとなっていた開発費等経費の発生



その他の事業 4Q想定と通期予想



通期

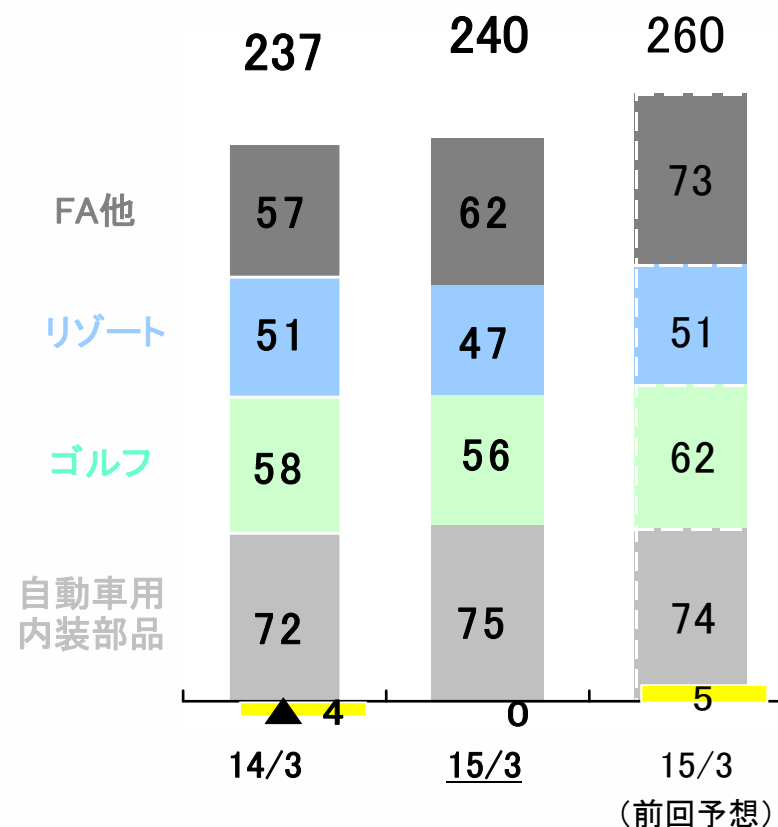


営業損益

(億円)

4Q想定

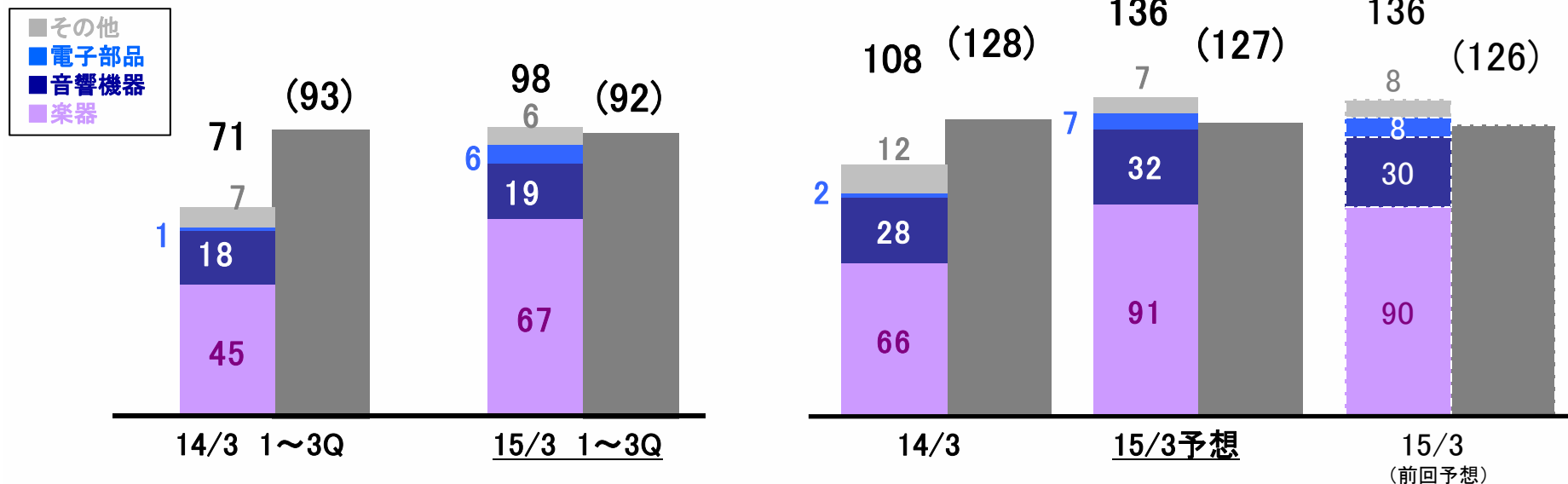
- ・ゴルフ、リゾートは共に厳しさ継続で対前回予想で減収を想定
- ・FA機器は、受注減により前回予想から減収



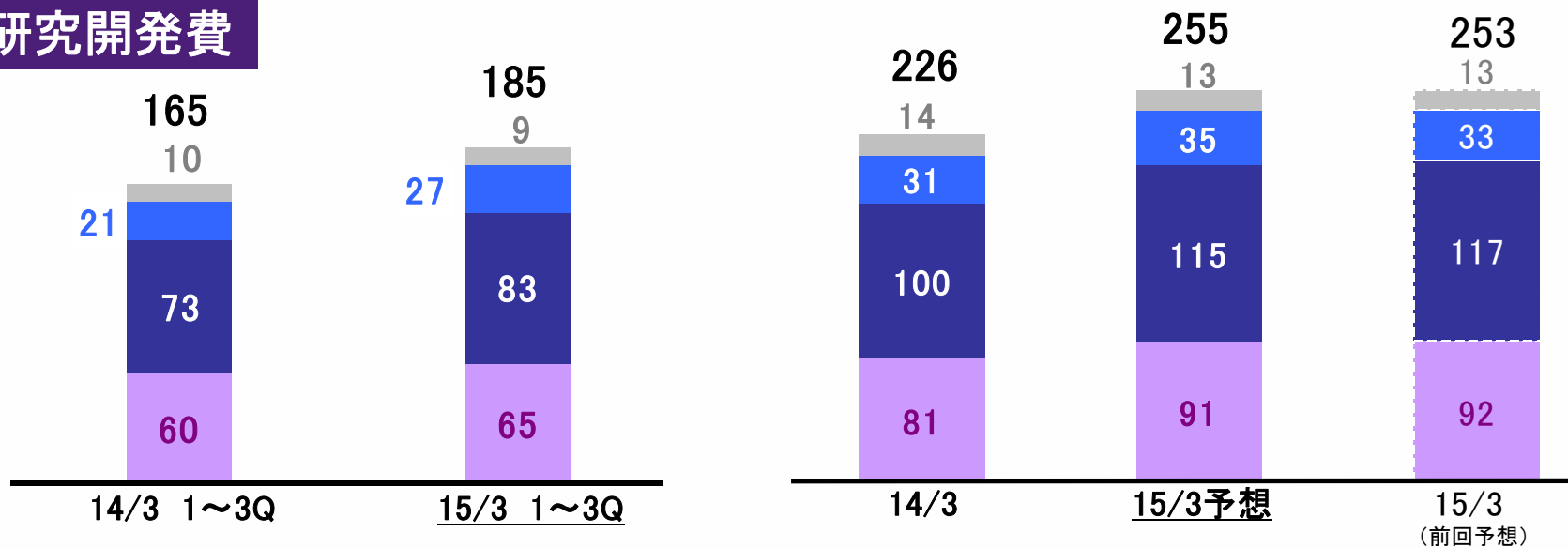
設備投資額・減価償却費/研究開発費



設備投資額(減価償却費)



研究開発費

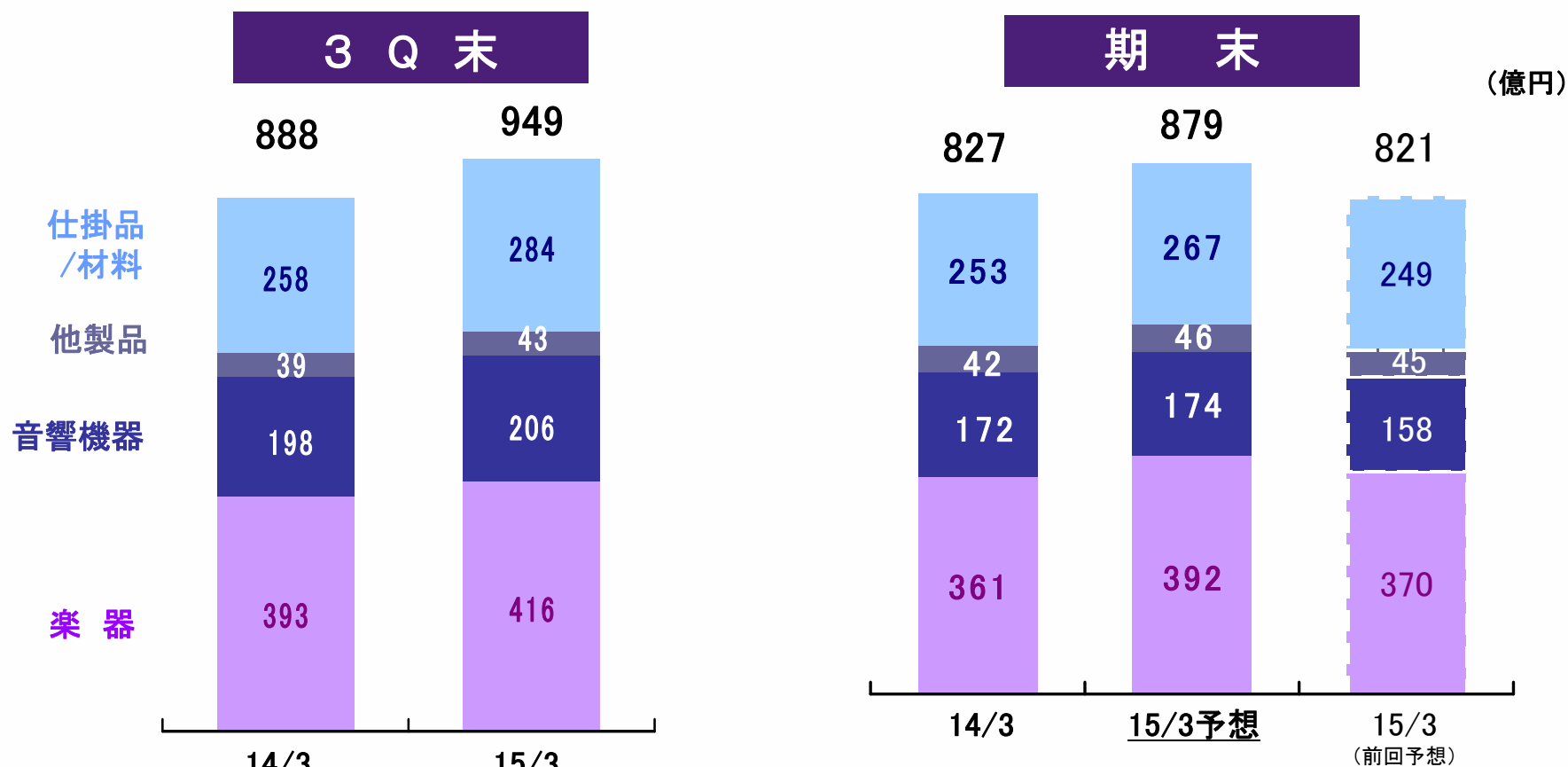


棚卸資産



➤3Q末総在庫は949億円（前年同期比較では為替影響49億円を含む）

➤期末は879億円を想定（為替影響を除外すると対前回予想で実質18億円の増加）



為替影響額 (億円)	
前年同期比較	+49

為替影響額 (億円)	
前期比較	+34
前回予想比較	+40

貸借対照表



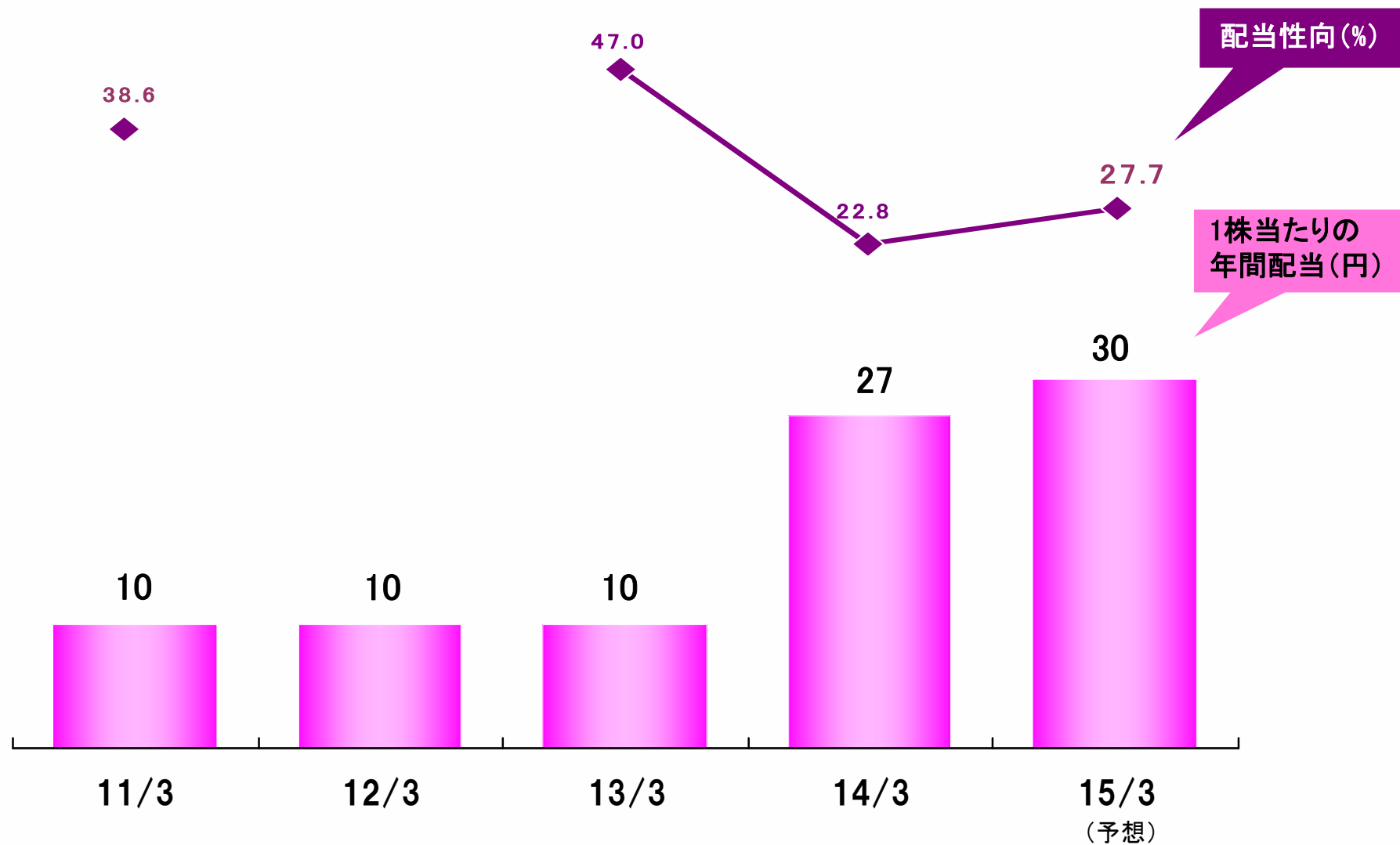
(億円)

	3Q末			期末予想		
	13/12末	14/12末	増減	14/3末	15/3末	増減
現預金	681	745	64	606	747	141
売上債権	648	682	34	567	588	21
棚卸資産	888	949	61	827	879	52
他流動資産	140	195	55	145	175	30
固定資産	2,094	2,620	526	2,244	2,597	353
資産計	4,451	5,190	739	4,389	4,986	597
仕入債務	210	230	20	216	223	7
借入金	176	199	23	88	98	10
他負債	1,386	1,464	78	1,337	1,441	104
純資産計	2,679	3,298	619	2,748	3,224	476
負債純資産計	4,451	5,190	739	4,389	4,986	597

株主還元



➤2015/3期の年間配当は30円を予定



付属資料

2015/3期 4Q業績予想



(億円)

	14/3 4Q	15/3 4Q	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,016	1,068	+5.1%	1,070	▲0.2%
営業利益 (営業利益率)	32 (3.2%)	43 (4.0%)	+33.6%	40 (3.7%)	+7.5%
経常利益 (経常利益率)	38 (3.7%)	40 (3.7%)	+5.2%	40 (3.7%)	-
当期利益 (当期利益率)	39 (3.8%)	3 (0.3%)	▲92.2%	5 (0.5%)	▲40.0%

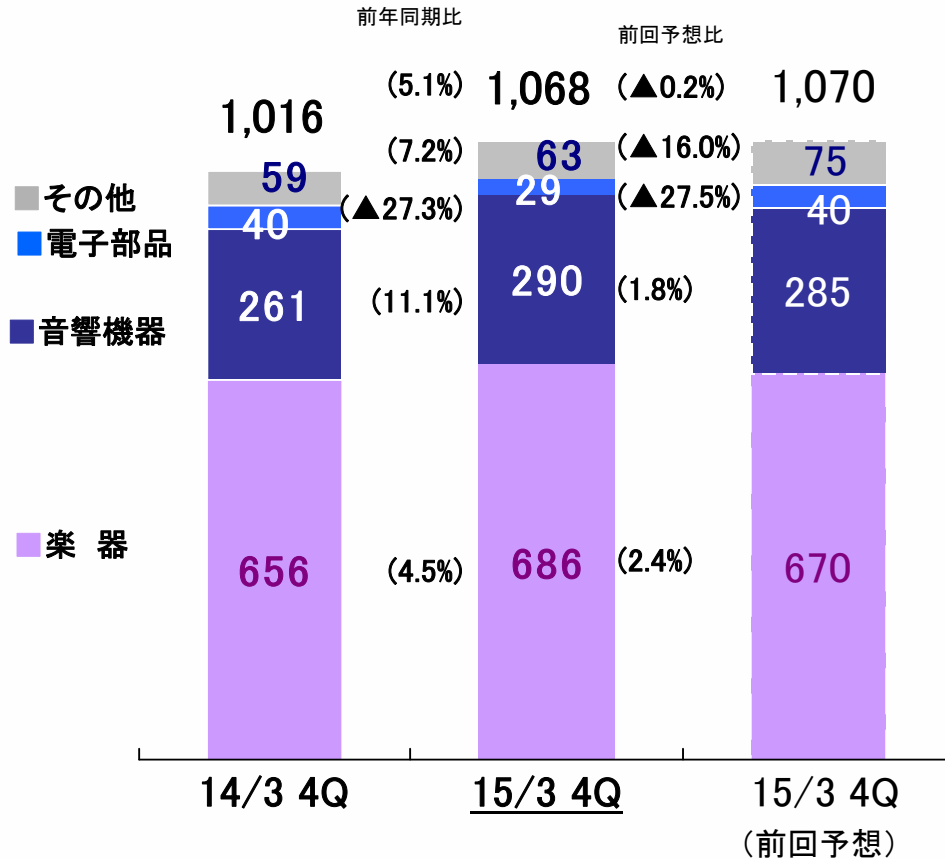
為替レート (円)

売上高	US\$	103	115	105
	EUR	141	140	135
利益	US\$	103	115	105
	EUR	137	140	135

2015/3期 4Q事業別業績予想



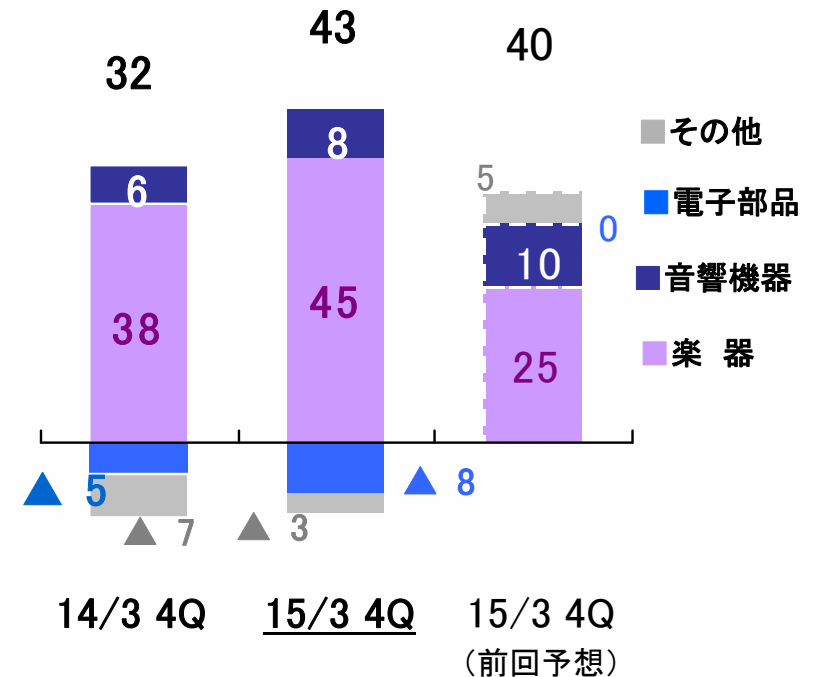
売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+39	楽器 +26 音響機器 +12 電子部品 +1
前回予想比較	+44	楽器 +29 音響機器 +14

営業利益

(億円)



為替影響額 (億円)		
前期比較	+5	楽器 +5
前回予想比較	+9	楽器 +7 音響機器 +2

2015/3期 1～3Q営業外損益、特別損益



(億円)	14/3 1～3Q	15/3 1～3Q	15/3 1～3Q前回予想
営業外損益			
金融収支	10	13	12
その他	▲15	▲10	▲22
計	▲5	3	▲10
特別損益			
固定資産処分損益	4	0	▲1
その他	▲2	▲7	1
計	2	▲7	0
法人税他			
法人税等	49	57	56
法人税等調整額	▲16	▲13	▲2
少数株主利益	2	2	1
計	35	46	55

特許関連収入
6

投資有価証券売却益
10
構造改革費用
▲6
YMMI操業停止損失他
▲6

2015/3期 通期営業外損益、特別損益

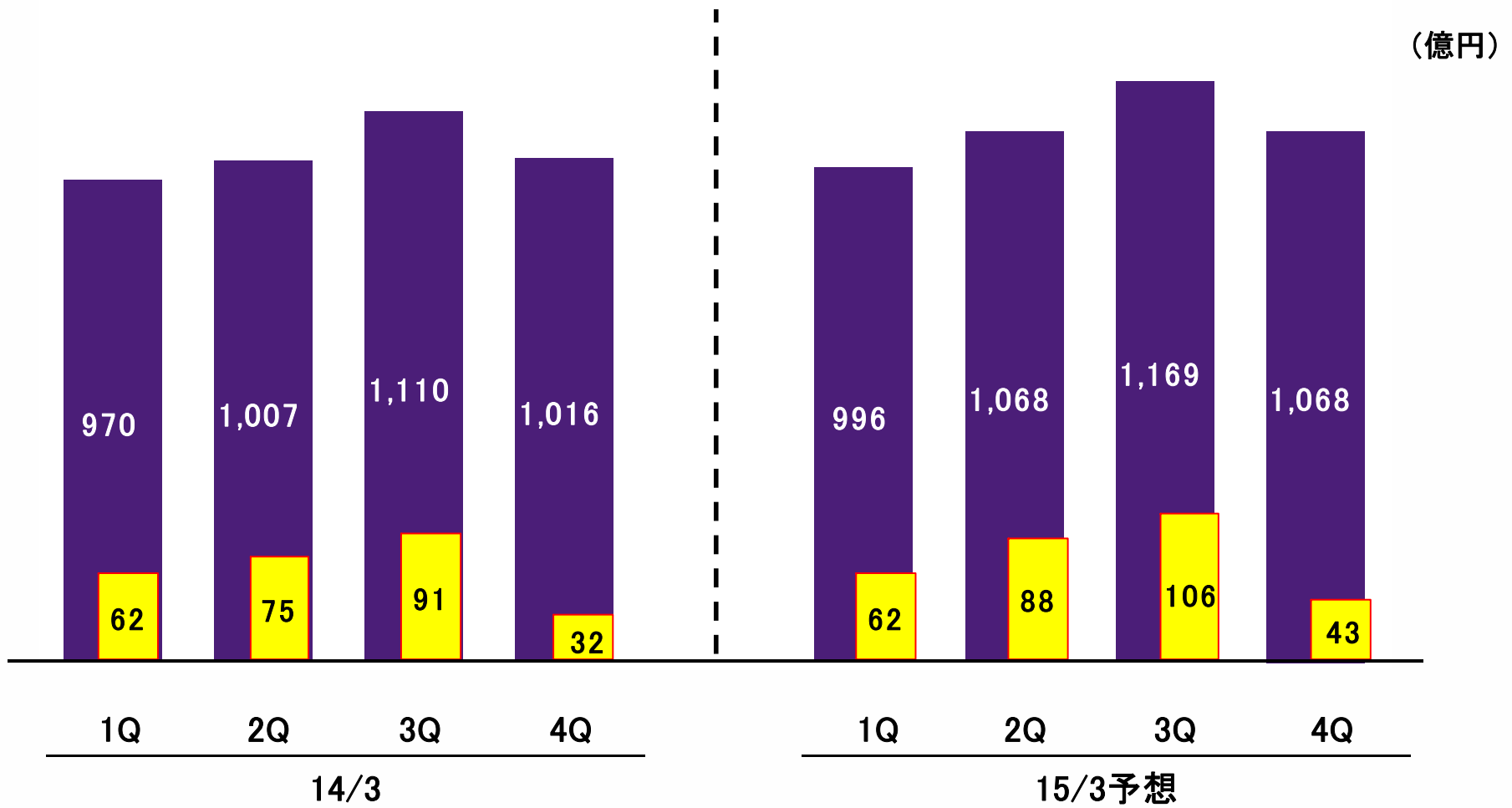


(億円)	14/3 通期	15/3 通期	15/3 通期前回予想
営業外損益			
金融収支	26	22	18
その他	▲25	▲22	▲28
計	1	0	▲10
特別損益			
固定資産処分損益	3	0	▲1
その他	▲6	▲30	▲19
計	▲3	▲30	▲20
法人税他			
法人税等	58	73	68
法人税等調整額	▲31	▲15	1
少数株主利益	2	2	1
計	29	60	70

投資有価証券売却益
10
構造改革費用
▲9
YMMI操業停止損失他
▲7

構造改革費用
▲18
その他特別損失
▲12

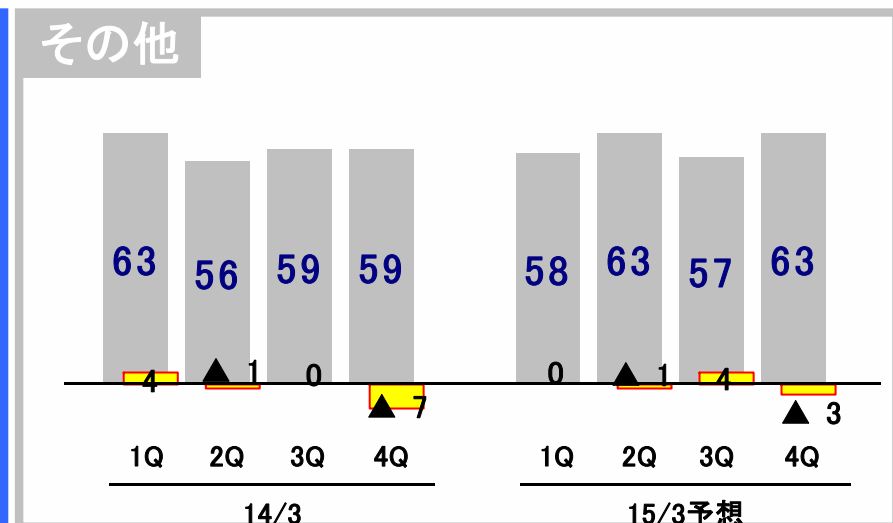
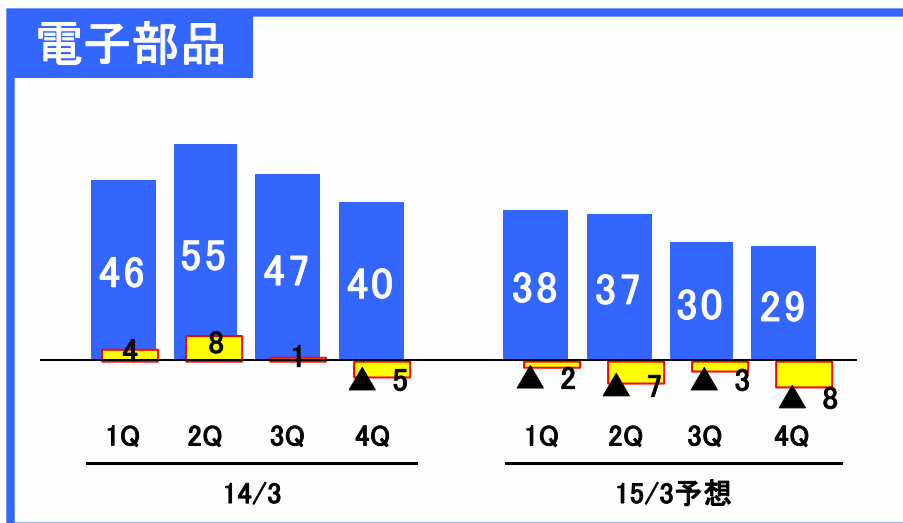
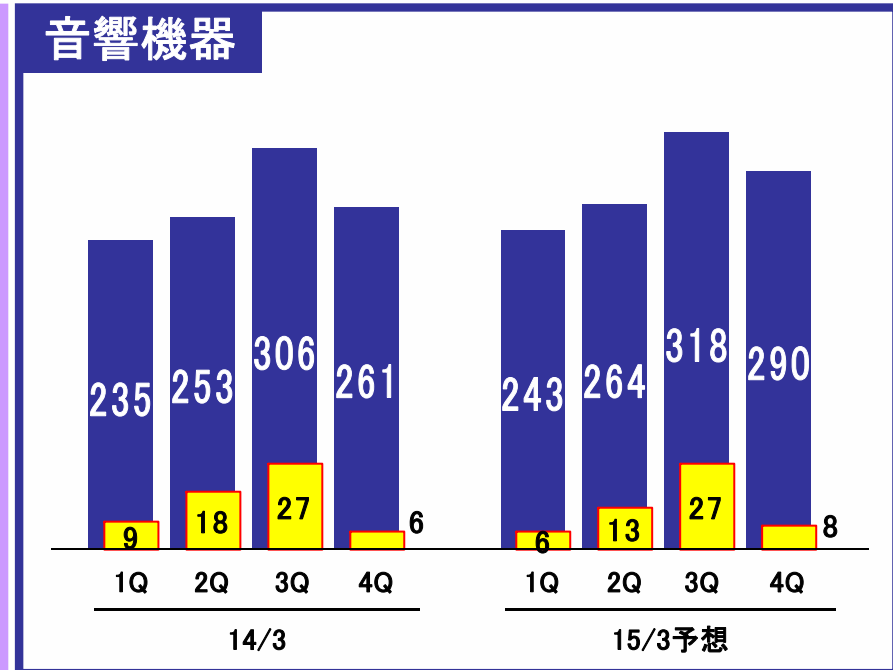
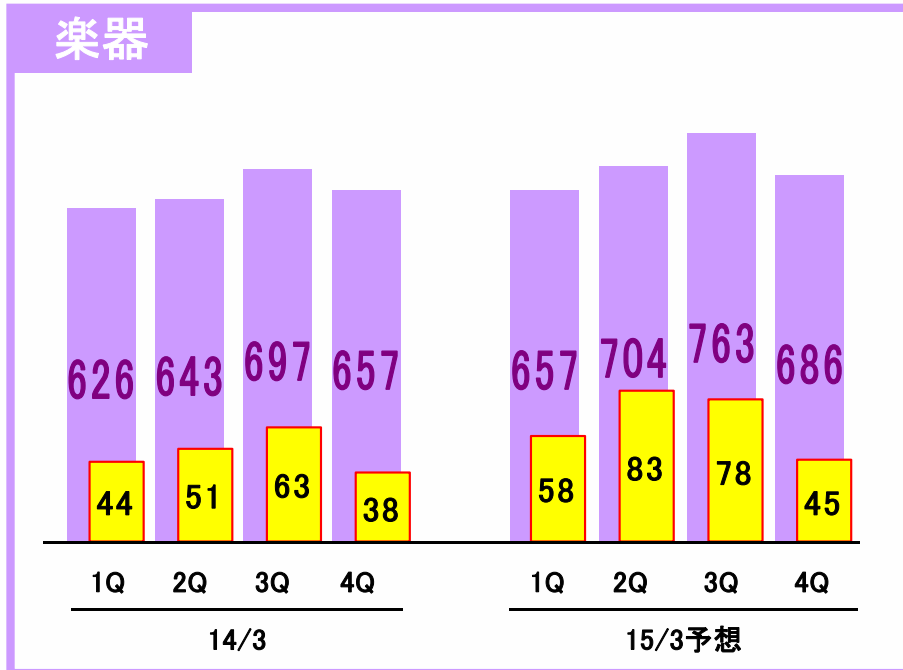
四半期別売上高／営業利益(全体)



四半期別売上高／営業利益(セグメント別)



(億円)



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。